



PRESS RELEASE



沖縄県
JICA 沖縄

2023年10月30日

報道関係者各位

**沖縄県とカンボジア地雷対策センターの協力開始署名式について
～沖縄県の平和継承の経験をカンボジアに活かす～**

沖縄県は、カンボジア内戦からの復興・地雷除去の歴史の伝承を担うカンボジア地雷対策センター（CMAC）の「地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり」において、住民視点による歴史を記憶し平和を希求・教育する沖縄県平和祈念資料館の理念、取組などを活かした運営スタッフの人材育成や展示物作成の技術協力を、独立行政法人国際協力機構（JICA）の支援の下で特定非営利活動法人沖縄平和協力センター（OPAC）と共に取り組んでいくこととなりました。

つきましては、下記のとおり、本県とCMACとの間で覚書（M/M: Minutes of Meeting）の署名式を行いますので、取材方よろしくお願ひします。

記

- 1 日時：令和5年11月6日（月） 13:25～13:50 （約25分）
- 2 場所：沖縄県庁6階第2特別会議室
- 3 主な参加者
CMAC：ヘン・ラタナ 長官
沖縄県：玉城 デニー 知事
JICA 沖縄：倉科 和子 所長
OPAC：仲泊 和枝 理事長
- 4 次第
(1) 事業の説明（OPAC 仲泊理事長）
(2) 覚書（M/M）への署名、写真撮影
（長官、知事署名。立会人として JICA 沖縄所長、OPAC 理事長署名。）
(3) あいさつ 沖縄県 玉城知事
(4) あいさつ CMAC ヘン・ラタナ 長官
(5) あいさつ JICA 沖縄 倉科所長
- 5 取材対応： 13:50～14:00 （約10分）
署名式終了後、同会議室にて取材対応します。
JICA 沖縄：市民参加協力課課長
沖縄県：女性力・平和推進課、平和祈念資料館、県立博物館・美術館
OPAC：仲泊理事長

6 CMA C長官御一行来沖時スケジュール案

以下日程については全て取材可能ですので、ぜひ取材をご検討ください。

日付	時間	日程
11月5日(日)	12:30-14:00	沖縄県平和祈念資料館(糸満市)
	14:30-15:30	ひめゆり平和祈念資料館(糸満市)
	16:30-18:00	沖縄県立博物館・美術館(那覇市)
11月6日(月)	09:00-10:30	株式会社沖縄計測(沖縄市) ※不発弾処理について説明
	13:25-13:50	覚書署名式(沖縄県庁)

CMA C長官御一行は、11月4日から11日まで来日し、うち、5日、6日に沖縄県を訪れ、協力開始の署名式に出席されます。

7 CMA Cについて

CMA Cは、カンボジアにおける人道的な地雷・不発弾除去活動を行う公的組織として1992年の設立以来、独自の努力や各国の協力を得て取り組みを続けており、地雷対策の先駆者として、JICA等と協力しながら、今なお地雷被害に苦しむ国々とこれまでに培った知見を共有し、国際的にも高い評価を受けています。近年においては、アンゴラ、コロンビア、ラオス、イラク、ウクライナなどへ技術協力を行っています。

30年前に紛争を終え、その後も地雷除去を続けてきたカンボジアでは、特に若い世代において紛争の記憶や平和の重要性の認識を語り継ぐことが、紛争を繰り返さないための大きな課題となっています。

一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた経験を有する沖縄県では、沖縄県平和祈念資料館などにおいて沖縄戦の実相と教訓を次世代へ継承し、未来に向けて平和を希求する取組を続けており、本協力事業においては、カンボジアの課題解決にその経験を活かし、貢献できるものと考えています。

8 JICA草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、日本のNGO/NPO、地方自治体、大学、民間企業等の法人団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づき、JICAへ事業提案し、事業採択を経て、JICAとの協力関係のもとに実施する国際協力・共同事業です。

以上

【本件に関するお問合せ先】

【JICA草の根技術協力事業全般について】

JICA沖縄 市民参加協力課 吉野：098-876-6000

【来沖日程、事業詳細について】

沖縄平和協力センターOPAC 仲泊：098-866-4635

【署名式について】

沖縄県女性力・平和推進課 新垣：098-866-2500